

**MEDIUM WITH INFORMATION ACQUISITION PROGRAM RECORDED THEREON,
INFORMATION TRANSMISSION DEVICE, MEDIUM WITH PRESERVATION TERM
MANAGEMENT PROGRAM RECORDED THEREON, CHARACTER INFORMATION
DISPLAY STRUCTURE, COMMODITY RETRIEVAL DEVICE, CHARGE FOR
DELIVERY CALCULATION DEVICE, INTRODUCTION DEVICE**

Publication number: JP2002259416

Publication date: 2002-09-13

Inventor: AKAMINE KAZUHIKO

Applicant: AKAMINE KAZUHIKO

Classification:

- international: G06Q50/00; G06F3/00; G06F3/048; G06F17/30;
G06Q50/00; G06F3/00; G06F3/048; G06F17/30; (IPC1-
7): G06F17/30; G06F3/00; G06F17/60

- European:

Application number: JP20010061702 20010306

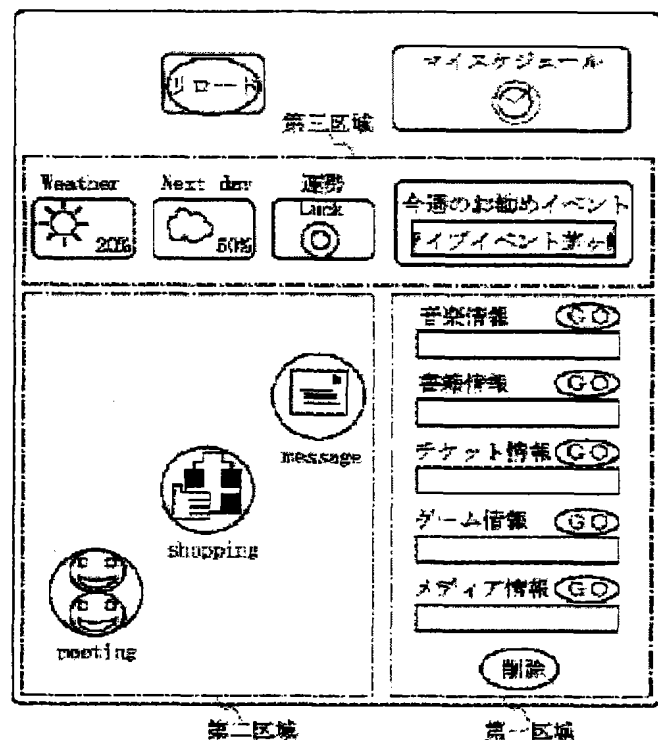
Priority number(s): JP20010061702 20010306

Report a data error here

Abstract of JP2002259416

PROBLEM TO BE SOLVED: To realize an information acquisition method that permits the acquisition of desired information through a network by an operation that is self-explanatory and easy even for a beginner.

SOLUTION: In this medium, a program with which an information acquisition terminal for acquiring information using a communication network executes the processing for displaying an information access screen is stored, and the information access screen is comprised of the combination of a first area in which a keyword input field used for acquiring the information related to the keyword inputted therein by a user is disposed and a second area in which a character and/or an image for which the link for acquiring the information according to the user's personal information is set is disposed.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-259416

(P2002-259416A)

(43) 公開日 平成14年9月13日 (2002.9.13)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト*(参考)
G 0 6 F 17/30	3 1 0	G 0 6 F 17/30	3 1 0 A 5 B 0 7 5
	1 1 0		1 1 0 F 5 E 5 0 1
3/00	6 5 5	3/00	6 5 5 B
17/60	1 2 4	17/60	1 2 4

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 23 頁)

(21) 出願番号 特願2001-61702(P2001-61702)

(22) 出願日 平成13年3月6日 (2001.3.6)

(71) 出願人 599013212

赤嶺 和彦

東京都港区南青山7-10-6 高樹マンション202

(72) 発明者 赤嶺 和彦

東京都港区南青山7-10-6 高樹マンション202

(74) 代理人 100110652

弁理士 塩野谷 英城

Fターム(参考) 5B075 ND20 PP13 PP22 PP28 PQ46
PQ80

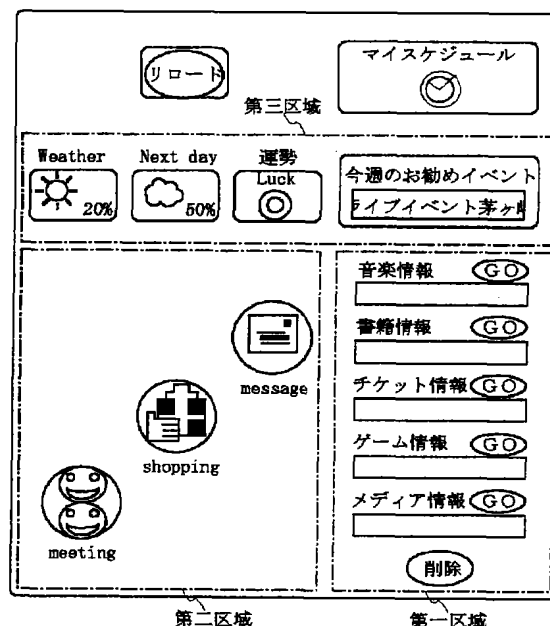
5E501 AAO2 AB15 AC33 BA05 EB19
FA13 FA14 FA23

(54) 【発明の名称】 情報取得プログラムを記録した媒体、情報送信装置、保存期限管理プログラムを記録した媒体、文字情報表示構造、商品検索装置、配送料算定装置、紹介装置

(57) 【要約】

【課題】初心者にも分かりやすく、しかも極めて簡易な操作により、希望する情報をネットワーク上から取得できる情報取得方法を実現すること。

【解決手段】通信ネットワークを利用して情報を取得する情報取得端末に情報アクセス画面を表示する処理を実行させるための、プログラムを記憶した媒体であって、当該情報アクセス画面は、ユーザの入力したキーワードに関連する情報を取得する際の、当該キーワード入力欄を配置する第一の区域と、ユーザの個人情報に応じた情報を取得するためのリンクが設定された文字又は/及び画像を配置する第二の区域とを組み合わせる構成される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信ネットワークを利用して情報を取得する情報取得端末に情報アクセス画面を表示する処理を実行させるための、プログラムを記憶した媒体であって、

前記情報アクセス画面は、当該情報取得端末のユーザの入力したキーワードに関連する情報を取得する際の、当該キーワード入力欄を配置する第一の区域と、前記ユーザの個人情報に応じた情報を取得するためのリンクが設定された文字又は／及び画像を配置する第二の区域とを組み合わせる構成される画面であることを特徴とする、プログラムを記憶した媒体。

【請求項 2】 情報取得端末に情報を送信する情報送信装置であって、

複数の情報を格納する情報記憶手段と、
各情報取得端末へ送信されていない情報の判定条件を各情報取得端末の識別情報と関連付けて格納する未送信情報判定条件記憶手段と、

前記情報取得端末から当該情報取得端末の識別情報と、一の情報の送信要求とを受信する受信手段と、

前記受信手段が、前記情報取得端末の識別情報と一の情報の送信要求を受信したときは、当該情報取得端末の識別情報に関連付けられた判定条件を未送信情報判定条件記憶手段から読み出し、当該読み出した判定条件に基づいて当該情報取得端末に送信されていないと判定した情報を、前記情報記憶手段より抽出する処理手段と、
前記処理手段が抽出した情報を前記情報取得端末に送信する送信手段とから構成される情報送信装置。

【請求項 3】 請求項 2 記載の情報送信装置において、前記処理手段は、情報取得端末に送信していないと判定した情報を抽出した際、当該抽出した情報の保存期限情報を前記抽出した情報と関連付けて送信手段に出力する情報送信装置。

【請求項 4】 請求項 2 記載の情報送信装置に対し一の情報の送信要求を行い、当該情報取得端末へ送信されていない情報を受信して当該情報取得端末の記憶手段に格納する情報蓄積処理と、

前記受信した各情報の保存期限情報を生成する保存期限情報生成処理と、

当該生成された保存期限情報に基づき、当該保存期限情報に関連付けられた情報について保存期限の経過の有無を判定し、当該保存期限の経過した情報を前記記憶手段より抹消する情報抹消処理とを前記情報取得端末に実行させるための、プログラムを記憶した媒体。

【請求項 5】 請求項 2 記載の情報送信装置から、当該情報取得端末へ送信されていないと判定された情報を受信して当該情報取得端末の記憶手段に格納する情報蓄積処理と、

少なくとも、前記情報取得端末のユーザの個人情報に応

じた情報を取得するためのリンクが設定された、文字又は／及び画像を配置する情報アクセス画面を表示する情報アクセス画面表示処理と、

前記情報蓄積処理により前記情報取得端末のユーザの個人情報に応じた情報が新規な情報となったときは、当該情報を取得するためのリンクが設定された文字又は／及び画像の表示態様を変更する表示態様変更処理と、

前記ユーザより前記情報アクセス画面のいずれかの文字又は／及び画像の選択があったときは、前記選択された文字又は／及び画像に基づく前記一の情報の送信要求を前記情報送信装置に送信する情報送信要求処理とを当該情報取得端末に実行させるための、プログラムを記憶した媒体。

【請求項 6】 請求項 2 記載の情報送信装置に対し一の情報の送信要求を行い、当該情報取得端末へ送信されていない情報を受信して当該情報取得端末の記憶手段に格納する情報蓄積処理と、

前記情報取得端末のユーザの入力したキーワードに関連する情報を取得する際のキーワード入力欄であって、取得する情報の種類毎に特化されているキーワード入力欄を、複数配置した情報アクセス画面を、前記情報取得端末に表示させる情報アクセス画面表示処理と、

前記ユーザが前記情報アクセス画面のいずれかのキーワード入力欄よりキーワードの入力を行ったときは、前記入力されたキーワードに関連する情報を前記情報取得端末の記憶手段より読み出して、前記ユーザに提示する情報提示処理とを当該情報取得端末に実行させるためのプログラムを記憶した媒体。

【請求項 7】 請求項 2 記載の情報送信装置に対し一の情報の送信要求を行い、当該情報取得端末に送信されていない情報を受信して当該情報取得端末の記憶手段に格納する情報蓄積処理と、

前記情報取得端末のユーザの入力したキーワードに関連する情報を取得する際のキーワード入力欄であって、取得する情報の種類毎に特化されているキーワード入力欄を、複数配置した情報アクセス画面を、前記情報取得端末に表示させる情報アクセス画面表示処理と、

前記ユーザが前記情報アクセス画面のいずれかのキーワード入力欄よりキーワードの入力を行ったときは、当該入力されたキーワードに関連する情報を前記情報取得端末の記憶手段より読み出して前記ユーザに提示する情報提示処理と、

前記ユーザより、前記情報アクセス画面上の特定のキーワード入力欄の使用休止操作を受け付けたときは、当該使用休止された入力欄の表示態様を変更すると共に、前記情報送信装置より送信される情報を、使用休止操作されていない入力欄に対応した情報に限定するための送信情報限定要求を、前記情報送信装置に送信する取得情報限定処理とを、

当該情報取得端末に実行させるためのプログラムを記憶

した媒体。

【請求項 8】 テロップ表示部と、当該テロップ表示部の表示内容に関する情報へのリンクとを備えた文字情報表示構造において、前記テロップ表示部の周縁に前記リンクを配置したことを特徴とする文字情報表示構造。

【請求項 9】 通信ネットワークを利用して、購入商品の検索リストをユーザの端末に出力する商品検索装置であって、少なくとも当該商品が中古品又は新品であることを識別する情報を含む商品情報を商品毎に格納する商品情報記憶手段と、前記記憶手段より、商品情報を読み出し、当該商品情報に基づく商品検索リストのデータ又は商品検索リスト作成のためのデータをユーザの端末に出力する処理手段とを備え、

上記商品検索リスト上の各商品情報には、当該各商品が中古品又は新品であることを識別する情報が商品毎に併記されるようにしたことを特徴とする、商品検索装置。

【請求項 10】 通信ネットワークを利用して、購入商品の検索リストをユーザの端末に出力する商品検索装置であって、

各商品の販売価格を含む商品情報を、当該商品を販売する販売業者と関連付けて格納する商品情報記憶手段と、前記商品の販売業者を、当該販売業者が仲介者に支払う仲介手数料と関連付けて格納する販売業者記憶手段と、前記商品情報記憶手段より読み出した、同じ種類の商品の各商品情報を販売価格の安い順に配置した検索リストを作成し、ユーザの端末に出力する処理手段とを備え、前記処理手段は、前記販売価格が同一である各商品の配置を決定するに際し、当該商品に関連付けられた、販売業者の仲介手数料を前記商品情報記憶手段及び販売業者記憶手段の内容に基づいて特定すると共に、当該特定した各商品の仲介手数料の高い販売業者に関連付けられた商品を上位に配置することを特徴とする商品検索装置。

【請求項 11】 通信ネットワークを利用して、購入商品の検索リストをユーザの端末に出力する商品検索装置であって、

各商品の販売価格を含む商品情報を、当該商品を販売する販売業者と関連付けて格納する商品情報記憶手段と、前記商品の販売業者を、当該販売業者の過去の商品取引回数と関連付けて格納する販売業者記憶手段と、前記商品情報記憶手段より読み出した、同じ種類の商品の各商品情報を販売価格の安い順に配置した検索リストを作成し、ユーザの端末に出力する処理手段とを備え、前記処理手段は、前記販売価格が同一である各商品の配置を決定するに際し、当該商品に関連付けられた、販売業者の過去の商品取引回数を前記商品情報記憶手段及び販売業者記憶手段の内容に基づいて特定すると共に、前記特定した過去の商品取引回数が多い販売業者に関連付

けられた商品を上位に配置することを特徴とする商品検索装置。

【請求項 12】 通信ネットワークを利用して、販売される商品の配送料を算定する配送料算定装置であって、ユーザの端末へ、配送日選択欄を出力する配送日選択欄出力手段と

前記配送日選択欄上から当該ユーザに選択された配送日を受け取ったときは、当該受け取った配送日に応じて配送手数料を算定する算定手段とを備えた配送料算定装置。

【請求項 13】 出合いの相手情報を格納するユーザ情報記憶手段と、

ユーザ側から出合いの相手方に求める紹介希望条件を受け取ったときは、当該紹介希望条件に合致する相手情報を前記ユーザ情報記憶手段より検索すると共に、当該検索した相手情報の表示情報を作成し、当該ユーザ側に出力する処理手段とから構成される紹介装置において、前記ユーザ情報記憶手段に格納される各ユーザの相手情報は、通信ネットワークを介して商品の売買を行うために当該各ユーザから受け取った個人情報であることを特徴とする、紹介装置。

【請求項 14】 サーバ側から受け取ったイベント情報をユーザの端末に表示するイベント情報表示処理と、前記表示されたイベント情報についてスケジュール追加操作を受け付けたときは、当該ユーザの端末のスケジュール記憶手段に格納された当該ユーザのスケジュール情報を前記イベント情報に基づき更新し、当該更新されたスケジュール情報を当該ユーザの端末に表示するスケジュール情報更新処理とを当該ユーザの端末に実行させるためのプログラムを記録した媒体。

【請求項 15】 購入希望商品の検索条件の入力をユーザから受け付け、当該入力された検索条件をサーバ側に送信する商品検索条件送信処理と、

前記送信された商品検索条件に合致する商品の商品情報をサーバ側より受信し、当該ユーザの端末に表示する検索結果表示処理と、

前記検索条件の送信に対応して、イベント情報をサーバ側より受信し、当該ユーザの端末のイベント記憶手段に予め格納すると共に、前記相手情報をサーバ側より受信し、当該ユーザの端末の相手情報記憶手段に予め格納する情報蓄積処理と、

その後、

出合いの相手方に求める紹介希望条件の入力をユーザから受け付けると、当該紹介希望条件に合致する相手情報を当該ユーザの端末の相手情報記憶手段より読み出して当該ユーザの端末に表示する相手紹介処理と、

スケジュール更新操作をユーザから受け付けると、スケジュール情報記憶手段に格納された当該ユーザのスケジュールを前記イベント情報記憶手段より読み出したイベント情報に基づき更新するスケジュール更新処理とを、

当該ユーザの端末に実行させるためのプログラムを記憶した媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信ネットワーク上の膨大な情報から所望の情報を取得する情報取得方法にかかり、特に、希望する情報へ複雑な操作をすることなく容易に到達するため情報アクセス画面を利用した、情報取得方法に関する。

【0002】

【従来の技術】通信ネットワークを介して情報を取得する情報取得方法としては、パーソナルコンピュータにインストールしたWWWブラウザを利用し、インターネット上のWWWサーバにアクセスして、目的の情報を取得する方法が普及している。

【0003】更に、Yahoo!、インフォシーク、エキサイト、ライコス等の運営するいわゆるディレクトリ型検索サービスを利用するためのWebページは、インターネット上の情報へのリンクが張られた項目をカテゴリ毎に纏まった形で表示するフォーマットとなっている。

【0004】したがって、WWWブラウザを利用して情報を取得しようとする者は、上述のWebページをいわゆるポータルサイトとして利用することにより、同様のサービスを行う複数のWebページにアクセスしながら様々な情報を抽出できる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述したような、従来のディレクトリ型検索サービスを利用するためのWebページは、多数のWebページをツリー状にリンクさせる構造を有しているため、所望の情報に関連すると思われる項目を選択した場合、直ちに目的の情報取得可能なWebページへ辿り着くわけではなく、更に細分化された項目を集めたWebページが表示され、その中から更に目的の情報に関連すると思われる項目を選択するといった操作を繰り返さなければならない場合も多い。

【0006】このような操作により目的の情報を取得可能なWebページに辿り着くことはWWWブラウザを利用し始めて間もないビギナーには極めて困難である。

【0007】また、上述の、ディレクトリ型検索サービスを利用するためのWebページは、多様なユーザのニーズに対応するため、リンクが張られた項目が極めて多種多様なものとなっているが、上記ビギナーの大半は、このような多種多様な項目のうち、例えばショッピングサイトへリンクが張られた項目や、出会いを実現するためのWebサイトへリンクが張られた項目といった、共通する一部のサービスを利用するための項目のみを利用することが多く、他の大部分の項目は、利用される頻度が極めて少ないにもかかわらず常に存在していることに

なる。

【0008】このような、上記ビギナーにとって無駄な項目が毎回表示される、ディレクトリ型検索サービスのWebサイトを、自己のポータルサイトとして使用する事は、目的の情報を取得するWebサイトに到達するまでの操作を一層複雑化させることを意味し、これがWWWブラウザによる情報取得方法を親しみにくいものとする一因となっている。

【0009】

10 【発明の目的】このような状況下において、本発明は、初心者にも分かりやすく、しかも極めて簡易な操作により、希望する情報をネットワーク上から取得できる情報取得方法を実現する事を目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】上述の課題を解決するため、発明者は、情報取得端末を利用して、通信ネットワーク上を流通する性質の異なる情報を極めて簡易な操作により取得するための情報インターフェースとして機能する、情報アクセス画面を案出した。

20 【0011】一方、発明者は、上記情報アクセス画面を情報インターフェースとして備える端末に対して情報を送信する、いわばサーバの側の構成にも着目し、できるだけ少ない接続時間で、ユーザの情報取得端末が必要とする情報を効率的に送信すると共にサーバ自身の処理負担の軽減を達成するための構成を有する情報送信装置を案出した。

30 【0012】発明者は、上述の情報取得端末と情報送信装置とを通信回線を通じて接続することにより、初心者にも分かりやすく、しかも極めて簡易な操作により、希望する情報を容易に取得できる情報取得システムを実現することを意図するものである。

【0013】請求項1記載の発明は通信ネットワークを利用して情報を取得する情報取得端末に情報アクセス画面を表示する処理を実行させるための、プログラムを記憶した媒体である。

40 【0014】そして、当該情報アクセス画面は、当該情報取得端末のユーザの入力したキーワードに関連する情報を取得する際の、当該キーワード入力欄を配置する第一の区域と、当該ユーザの個人情報に応じた情報を取得するためのリンクが設定された文字又は／及び画像を配置する第二の区域とを組み合わせ構成される。

【0015】ここで、本発明において「通信ネットワーク」とは、通信回路やケーブルなどを通してユーザの端末とサーバを接続する通信網であればよく、インターネット通信網のみを想定するものでない。

50 【0016】「情報取得端末のユーザの入力したキーワードに関連する情報を取得する際の、当該キーワード入力欄」とは、特定のデータベースからユーザ所望の情報を検索する際、当該情報に含まれる用語、人物名、商品名等を入力するテキストボックスが想定できるが、当該

用語、人物名、商品名等を選択するプルダウンメニューも含む。また、上記特定のデータベースは、ユーザ側に備えるものであるとサーバ側に備えるものであるとを問わない。

【0017】「ユーザの個人情報に応じた情報を取得するためのリンクが設定された文字又は／及び画像を配置する第二の区域」にいう「ユーザの個人情報」とは、当該ユーザの氏名、ハンドル名、住所、年齢、勤務先、更には商品を購入する際の決済処理に使用するクレジット番号、Eメールアドレス等、当該ユーザに固有な事項を

特定するに必要な情報が想定できる。
【0018】更に、ここにいう「ユーザの個人情報に応じた情報を取得するためのリンク」とは、各ユーザの上記個人情報を開示すると共に、この個人情報を通信ネットワークを通じて交換するシステムを構築することにより流通可能な情報へのリンクを広く含む。例えば、出合いの条件にマッチするとして収集された相手方ユーザの情報や、購入希望商品の条件にマッチするとして収集された商品の情報があげられる。

【0019】請求項2記載の情報送信装置は、複数の情報を格納する情報記憶手段と、各情報取得端末へ送信されていない情報の判定条件を各情報取得端末の識別情報と関連付けて格納する未送信情報判定条件記憶手段と、当該情報取得端末から当該情報取得端末の識別情報及び一の情報の送信要求を受信する受信手段とを備える。

【0020】そして、受信手段が情報取得端末の識別情報及び一の情報の送信要求を受信したときは、当該情報取得端末の識別情報に関連付けられた判定条件を未送信情報判定条件記憶手段から読み出し、当該読み出した判定条件に基づいて当該情報取得端末に送信されていないと判定した情報を情報記憶手段より抽出する処理手段と、処理手段が抽出した情報を上述の情報取得端末に送信する送信手段とを更に備える。

【0021】「情報記憶手段」に格納される「複数の情報」を構成する各ファイルは、当該情報送信装置の側で随時新しい情報を補充等することにより、更新される性質のものであることを想定している。また上記「一の情報の送信要求」とは、少なくとも上記複数の情報の中のいずれか一つのファイルに格納された情報の送信を要求するために、当該情報送信装置にアクセスすることを意味する。

【0022】「各情報取得端末に送信されていない情報」を判定する方法は、例えば、当該情報取得端末の直前のアクセス日時を記録しておき、当該アクセス日時以降に生成された情報を、当該情報取得端末に送信していない情報と判定する方法や、新たな情報の生成時、当該情報に情報コードを割り振ると共に、各情報取得端末に送信した情報の当該情報コードを管理することにより、当該情報取得端末に送信していない情報を判定する方法が想定できるが、これに限定するものでない。

【0023】「未送信情報判定条件記憶手段」には、「各情報取得端末へ送信されていない情報の判定条件」を各情報取得端末の識別情報と関連付けて格納するが、この「判定条件」をどのようなものとするかは、上述の判定方法をどう定めるかにより異なってくる。例えば前者の判定方法を採用するときは当該情報取得端末の直前のアクセス日時が当該判定条件となり、後者の判定方法を採用するときは、当該情報取得端末に送信した情報の情報コードが当該判定条件となる。

【0024】請求項3記載の情報送信装置は、当該処理手段が、情報取得端末に送信していないと判定した情報を抽出した際、当該抽出した情報の保存期限情報を当該抽出した情報と関連付けて送信手段に出力する。

【0025】情報を受け取った情報取得端末は、この保存期限情報を管理し、当該保存期限経過後、当該保存期限情報と関連付けられた情報を当該情報取得端末の記憶手段から抹消することが望ましい。これにより、時間の経過により利用価値がなくなった情報の個別整理を容易化するものである。

【0026】請求項4記載の媒体に記憶されたプログラムは、請求項2記載の情報送信装置に対し一の情報の送信要求を行い、当該情報取得端末に送信されていない情報を受信して記憶手段に格納する情報蓄積処理と、当該受信した各情報の保存期限情報を生成する保存期限情報生成処理とを情報取得端末に実行させる。

【0027】更に、生成された保存期限情報に基づき、当該保存期限情報に関連付けられた情報について保存期限の経過の有無を判定し、当該保存期限の経過した情報を記憶手段より抹消する情報抹消処理を前記情報取得端末に実行させる。請求項3記載の発明と同様、時間の経過により利用価値がなくなった情報の個別整理を容易化するものである。

【0028】請求項5乃至7のプログラムは、請求項2記載の情報送信装置より提供される情報から、情報を取得する情報アクセス画面の表示に関するものであるが、請求項1記載のプログラムのアドインとして組み込まれる構成を採用してもよいし、各プログラム単体として、情報取得端末に組み込まれ、当該情報アクセス画面を表示する構成を採用してもよい。

【0029】請求項5記載のプログラムを記録した媒体は、請求項2記載の情報送信装置から、当該情報取得端末に送信されていないと判定された情報を受信して記憶手段に格納する情報蓄積処理と、少なくとも情報取得端末のユーザの個人情報に応じた情報を取得するためのリンクが設定された文字又は／及び画像を配置する情報アクセス画面を表示する情報アクセス画面表示処理とを情報取得端末に実行させる。

【0030】更に、上述の情報蓄積処理により情報取得端末のユーザの個人情報に応じた情報が新規な情報となったときに、当該情報を取得するためのリンクが設定さ

れた文字又は／及び画像の表示態様を変更する表示態様変更処理と、当該ユーザより当該情報アクセス画面のいずれかの文字又は／及び画像の選択があったときに、当該選択された文字又は／及び画像に基づく一の情報の送信要求を情報送信装置に送信する情報送信要求処理とを情報取得端末に実行させる。

【0031】「当該情報を取得するためのリンクが設定された文字又は／及び画像の表示態様を変更する」とは、当該文字又は／及び画像を特定の枠で囲んで表示したり、色を他の入力欄と違えて表示するなど、その文字又は／画像を選択する等の操作を行って情報更新の確認をせずとも、当該文字又は／及び画像にリンクした情報が更新されたものとなっていることを、当該情報アクセス画面を一見して認識できるような態様に変更するものであれば何でもよい。

【0032】請求項6記載の媒体に記録されたプログラムは、請求項2記載の情報送信装置に対し一の情報の送信要求を行い、当該情報取得端末に送信されていない情報を受信して記憶手段に格納する情報蓄積処理と、当該情報取得端末のユーザの入力したキーワードに関連する情報を取得する際のキーワード入力欄であって、取得する情報の種類毎に特化されているキーワード入力欄を、複数配置した情報アクセス画面を表示させる情報アクセス画面表示処理とを情報取得端末に実行させる。

【0033】更に、当該ユーザが上記情報アクセス画面のいずれかのキーワード入力欄よりキーワードの入力を行ったときは、入力されたキーワードに関連する情報を記憶手段より読み出して、ユーザに提示する情報提示処理を当該情報取得端末に実行させる。

【0034】本発明において、情報取得画面に複数配置されたキーワード入力欄は取得する情報の種類毎に特化されている。この点、通常一画面上にキーワード入力欄を一つしか配置していない従来のディレクトリ型検索サービスのWebページでは、ツリー上に構成されたWebページのなかから、目的の情報を検索するためのキーワード入力欄を配置したWebページに辿りつくまで、Webページ上の関連項目を選択する作業を繰り返す構成によるものであったのと対照的である。

【0035】「取得する情報毎に特化されている」とは、例えば、所望の本を探し出すためのだけのキーワード入力欄であるとか、所望のCDを探し出すためのだけのキーワード入力欄という様に、取得したい情報の種類毎に別々のキーワード入力欄を同一画面上に表示することを意味する。

【0036】また、上述の「情報蓄積処理」においては、情報取得端末の記憶手段に、本に関する情報を格納するファイル、CDに関する情報を格納するファイルといった、キーワード入力欄に対応する種類毎の情報を格納するファイルを個別に設け、当該各ファイル毎に区分して情報を蓄積する構成とすることが望ましい。

【0037】このような構成を採れば、キーワードの入力があったときは、当該キーワードの入力された入力欄に対応するファイルにのみ直ちにアクセスして検索を実行することにより、検索の際の処理効率を飛躍的に向上させることができるためである。

【0038】請求項7記載の媒体に記憶されたプログラムは、請求項6記載の媒体に記憶されたプログラムにより実行される各処理に加え、当該情報取得端末のユーザより、上述の情報アクセス画面上の特定のキーワード入力欄の使用休止操作を受け付けたときは、当該使用休止された入力欄の表示態様を変更すると共に、上述の情報送信装置より送信される情報を、当該使用休止操作されていない入力欄に対応した情報に限定するための送信情報限定要求を、情報送信装置に送信する取得情報限定処理とを、当該情報取得端末に実行させる。

【0039】「使用休止された入力欄の表示態様を変更する」とは、当該使用休止された入力欄を特定の枠で囲んで表示したり、色を他の入力欄と違えて表示するなど、ユーザをして、その入力欄に関連する情報は取得しない事を認識出来るような態様に変更するものであれば何でもよい。また、入力欄自体を当該情報アクセス画面から消去することもこれに含まれる。

【0040】請求項8記載の発明は、テロップ表示部と、当該テロップ表示部の表示内容に関する情報へのリンクとを備えた文字情報表示構造において、当該テロップ表示部の周縁に当該リンクを配置したことを特徴とする文字情報表示構造である。

【0041】請求項9乃至11記載の発明は、通信ネットワークを利用して、購入商品の検索リストをユーザの端末に出力する商品検索装置である。

【0042】請求項9記載の商品検索装置は、少なくとも当該商品が中古品又は新品であることを識別する情報を含む商品情報を商品毎に格納する商品情報記憶手段と、当該記憶手段より、商品情報を読み出し、当該商品情報に基づく商品検索リストのデータ又は商品検索リスト作成のためのデータをユーザの端末に出力する処理手段とを備える。

【0043】そして、当該商品検索リスト上の各商品情報には、当該各商品が中古品又は新品であることを識別する情報が商品毎に併記されるようにしたことを特徴としている。

【0044】通信ネットワークを利用して、商品の購入をしたいユーザは、購入希望の商品の情報をネットワーク上から検索し、各商品の値段等から購入を決定することが多いが、当該商品が新品かそれとも中古品かを確認するためには、販売者に個別に問合せるしかなかった。

【0045】このような状況下において、本発明は、ユーザの端末に出力される商品検索リスト上の各商品情報に、当該各商品が中古品又は新品であることを識別する情報を併記するため、新品の商品のみを探しているユー

10

20

30

40

50

ザや、反対に中古品のみを探しているユーザのニーズに迅速に対応できる。

【0046】請求項10記載の商品検索装置は、各商品の販売価格を含む商品情報を、当該商品を販売する販売業者と関連付けて格納する商品情報記憶手段と、当該商品の販売業者を、当該販売業者が仲介者に支払う仲介手数料と関連付けて格納する販売業者記憶手段と、当該商品情報記憶手段より読み出した同じ種類の商品の各商品情報を、販売価格の安い順に配置した検索リストを作成し、ユーザの端末に出力する処理手段とを備える。

【0047】そして、上述の処理手段は、販売価格が同一である各商品の配置を決定するに際し、当該商品に関連付けられた販売業者の仲介手数料を、商品情報記憶手段及び販売業者記憶手段の内容に基づいて特定すると共に、当該特定した各商品の仲介手数料の高い販売業者に関連付けられた商品を上位に配置することを特徴としている。

【0048】通信ネットワークを利用して商品を販売する販売業者は、サーバのデータベースに当該商品の販売広告等を登録するに際して、当該サーバの運営者等へ仲介手数料を納入するのが通常である。そしてこの仲介手数料は、当該販売業者が個人か、法人か、はたまた大企業か零細企業かなどのバックグラウンドにより異なってくる。

【0049】このような状況下において、本発明は、通信ネットワークを利用して購入可能な同種商品を検索して検索リストを作成する際の、各商品情報の配列を決定するに際し、原則として販売価格の安い順に配置するが、販売価格が同一である商品については、上述の仲介手数料が高い商品を上位に配置する。これにより、当該商品検索装置の運営者に対するマージンの増加を実現するものである。

【0050】「販売価格」とは、商品を購入するユーザが当該販売者に支払う金額を意味し、最も一般的なものとして購入商品自体の価格が想定できるが、購入商品の価格に配送手数料を計上した価格を含んでもよい。

【0051】また、「上位に配置する」とは、検索リスト上の、よりユーザに選択されやすい位置へ、仲介手数料の高い販売業者に関連付けられた商品を配置することを意味する。

【0052】請求項11記載の商品検索装置は、各商品の販売価格を含む商品情報を、当該商品を販売する販売業者と関連付けて格納する商品情報記憶手段と、商品の販売業者を、当該販売業者の過去の商品取引回数と関連付けて格納する販売業者記憶手段と、商品情報記憶手段より読み出した、同じ種類の商品の各商品情報を販売価格の安い順に配置した検索リストを作成し、ユーザの端末に出力する処理手段とを備える。

【0053】そして、上述の処理手段は、販売価格が同一である各商品の配置を決定するに際し、当該商品に関

連付けられた販売業者の過去の商品取引回数を、商品情報記憶手段及び販売業者記憶手段の内容に基づいて特定すると共に、当該特定した商品取引回数が多い販売業者に関連付けられた商品を上位に配置することを特徴としている。

【0054】本発明は、通信ネットワークを利用して購入可能な同種商品を検索して検索リストを作成する際の各商品情報の配列を決定に関するものである。本発明においては、原則として販売価格の安い順に各商品情報を配置するが、販売価格が同一である商品については、当該商品検索システムを介した過去の商品取引回数の多い販売者の提供する商品の商品情報を上位に配置する。これにより、当該商品検索装置を介しての安定的な商品販売を期待できる販売業者を優遇し、当該商品検索装置を使った事業の安定的な運用を実現するものである。

【0055】請求項12記載の発明は、通信ネットワークを利用して、販売される商品の配送料を算定する配送料算定装置であって、ユーザの端末へ、配送日選択欄を出力する配送日選択欄出力手段と、当該配送日選択欄上から当該ユーザに選択された配送日を受け取ったときは、当該受け取った配送日に応じて配送手数料を算定する算定手段とから構成される。

【0056】オンラインにより購入が申し込まれた商品の配送は、定期的なスケジュールに従い、定期的なルートに従って行われるのが通常である。このような状況下において、本発明は、配送手数料の算定を配送日に応じて変動させることにより、商品配送の効率化を実現するものである。

【0057】請求項13記載の紹介装置は、出合いの相手情報を格納するユーザ情報記憶手段と、ユーザ側から出合いの相手方に求める紹介希望条件を受け取ったときは、当該紹介希望条件に合致する相手情報を当該ユーザ情報記憶手段より検索すると共に、当該検索した相手情報の表示情報を作成し、当該ユーザ側に出力する処理手段とから構成される。

【0058】そして、当該ユーザ情報記憶手段に格納される各ユーザの相手情報は、通信ネットワークを介して商品の売買を行うために当該各ユーザから受け取った個人情報であることを特徴としている。

【0059】従来からインターネットを利用したWebサイトの中には、あるユーザから受け取った紹介希望条件にマッチする他のユーザの個人情報を紹介する、いわゆる出合い系サイトのサービスが行われている。

【0060】上記サービスを利用するユーザは、まず、自己のプロフィールをユーザ登録する必要があるが、このプロフィールは自己申告によるために、架空のプロフィールを登録した悪意者が紹介されたことに起因するトラブルが発生しても、当該悪意者を後に特定する事が困難であった。

【0061】このような状況下において、本発明は、通

信ネットワークを介して商品の売買を行うために当該各ユーザから受け取った個人情報を、紹介希望条件を受け取った際に表示情報として出力するための相手情報として、ユーザ情報記憶手段に格納する構成を採る。

【0062】単に出合いの相手方に開示するために自己のプロフィールを登録するのと異なり、通信ネットワークを介して商品の売買を行う際には、現実商品及び代金の授受を行うという最終の目的を達するため、常に虚偽でない個人情報を登録する必要がある。従って、この個人情報を上述の相手情報と共有することにより、出合いを求めるユーザに対し、信頼性の高い相手情報を提示でき、後のトラブルを未然に回避することを実現する。

【0063】「商品の売買を行うために当該各ユーザから受け取った個人情報」には、当該ユーザの氏名、住所、年齢、職業のほか、商品購入に際し、売買の相手方との決済処理を行うためのクレジットカード番号、更にはEメールアドレスを含んでもよい。

【0064】但し、後に問題が起きたときに、当該紹介された相手方ユーザの当該個人情報を特定できれば目的を達することができるので、当該ユーザから紹介希望条件を受け取った際、表示情報として出力される「相手情報」には、上述の「個人情報」をすべて含まず、例えば、ハンドル名、年齢、職業を開示するにとどめてもよい。

【0065】また、当該「相手情報」には、「商品の売買を行うために当該各ユーザから受け取った個人情報」以外の情報、例えば趣味、当該ユーザの自己PRのコメント等を含むことを排斥するものでない。

【0066】請求項14記載の媒体に記録されたプログラムは、サーバ側から受け取ったイベント情報をユーザの端末に表示するイベント情報表示処理と、当該表示されたイベント情報についてスケジュール追加操作を受け付けたときは、当該ユーザの端末のスケジュール記憶手段に格納された当該ユーザのスケジュール情報を当該イベント情報に基づき更新し、当該更新されたスケジュール情報をユーザの端末に表示するスケジュール情報更新処理とを当該ユーザの端末に実行させる。

【0067】「スケジュール情報」には、当該ユーザの予定を時間軸に従って表示した予定表を作成するためのデータを広く含む。そして、当該予定表上の時間軸は、時間単位で割り振られたものでも、日単位や週単位、又は月単位で割り振られたものであってもよい。

【0068】「イベント情報」とは、コンサート、ライブ、CD新作リリース等不特定多数人を対象として行われる催しに関するデータが広く該当する。そして、当該「イベント情報」には、少なくとも、上記予定表に組み込む際の時間的要素に関するデータ、例えば開催日時に関するデータを含む必要があるが、それ以外のデータ、例えば当該催しの開催場所、或いは当該催しの参加に入場券の携帯を要する場合にあっては当該入場券の価格、

入場券の残存状況等のデータを含んでもよい。

【0069】「スケジュール追加操作」とは、ユーザの端末に表示されたイベント情報のいずれかをユーザが選択することを意味する。このスケジュール追加操作が行われたときは、当該選択されたイベント情報に基づき当該ユーザのスケジュール情報が更新され、次回ユーザの端末に表示される予定表には上記選択されたイベント情報が組み込まれた形で表示されることになる。

【0070】請求項15記載の媒体に記録されたプログラムは、購入希望商品の検索条件の入力をユーザから受け付け、当該入力された検索条件をサーバ側に送信する商品検索条件送信処理と、当該送信された商品検索条件に合致する商品の商品情報をサーバ側より受信し、当該ユーザの端末に表示する検索結果表示処理と、当該検索条件の送信に対応して、イベント情報をサーバ側より受信し、当該ユーザの端末のイベント記憶手段に予め格納すると共に、前記相手情報をサーバ側より受信し、当該ユーザの端末の相手情報記憶手段に予め格納する情報蓄積処理とをユーザの端末に実行させる。

【0071】更に、上記情報蓄積処理の後に、出合いの相手方に求める紹介希望条件の入力をユーザから受けたときは、当該紹介希望条件に合致する相手情報を当該ユーザの端末の相手情報記憶手段より読み出して当該ユーザの端末に表示する相手紹介処理を実行させ、スケジュール更新操作をユーザから受け付けたときは、スケジュール情報記憶手段に格納された当該ユーザのスケジュールを前記イベント情報記憶手段より読み出したイベント情報に基づき更新するスケジュール更新処理とを実行させる。

【0072】

【発明の実施の形態】〔第一実施形態〕

【0073】以下、本発明の第一実施形態を図1乃至図19を参照しつつ説明する。

【0074】まず本システムの全体構成と、情報アクセス画面の構成を説明し、その後本システムにおける情報送信の基本的及び応用的処理、更には、本システムのユーザに提供される特徴的サービスの説明を行う。

【0075】〔本システムの全体構成〕

【0076】図1に示すように本システムは、通信ネットワークを介して情報を取得するクライアントである情報取得端末と、当該情報取得端末に情報を送信するサーバである情報送信装置とから構成される。

【0077】情報取得端末は、ユーザ側通信手段11、ユーザ側処理手段12、入力手段13、表示手段14、ユーザ側記憶手段15から構成され、ユーザは自己の端末に本システム専用のアプリケーションソフトをインストールすることにより当該端末を情報取得端末として機能させることができ、後に詳述する情報アクセス画面を利用しての各種情報の取得や、商品検索サービス、相手紹介サービス、スケジュール管理サービス等の各種サー

ビスの提供を受けることができる。

【0078】ユーザ側通信手段11は、例えば通信インターフェースである。

【0079】ユーザ側処理手段12は、例えばCPUを含み、その他にバスや、必要なインターフェースを含んでもよい。当該ユーザ側処理手段12に含まれるCPUは、物理的に単一の構成である必要はなく、分散処理を行う複数のコンピュータを含んでもよい。

【0080】入力手段13は、例えばキーボード、マウス等である。

【0081】表示手段14は、例えば、コンピュータディスプレイである。後述する情報アクセス画面及び当該情報アクセス画面を入り口として取得される各種情報を表示する。

【0082】ユーザ側記憶手段15は、例えば、メモリ、レジスタ、又はハードディスクであり、物理的に単一の構成であると複数であるとを問わない。

【0083】一方、情報送信装置は、サーバ側通信手段22、サーバ側処理手段23、サーバ側記憶手段24から構成される。

【0084】サーバ側通信手段22は、例えばモデムである。

【0085】サーバ側処理手段23は、例えばCPUを含み、その他にバスや、必要なインターフェースを含んでもよい。当該サーバ側処理手段23に含まれるCPUは、物理的に単一の構成である必要はなく、分散処理を行う複数のコンピュータを含んでもよい。

【0086】サーバ側記憶手段24は、例えば、メモリ、レジスタ、ハードディスクである。当該サーバ側記憶手段24には基本情報データベース241、未送信情報判定条件データベース242、ユーザ情報データベース243、商品情報データベース244、販売者データベース245、配送料データベース246を設ける。各データベースの内容は各処理の項において説明する。

【0087】〔情報アクセス画面の構成〕

【0088】情報取得端末において、本システム専用インストールされたアプリケーションソフトを起動させたとき、最初に表示手段14に表示されるのが図2に示す情報アクセス画面である。ユーザは、入力手段13を利用してこの情報アクセス画面上のキーワード入力欄からキーワードを入力し、又はいずれかの画像、文字情報を選択するという極めて簡易な操作により、性質の異なる様々な情報を、サーバである情報送信装置から容易に取得することができる。

【0089】図2に示す情報アクセス画面は、キーワード入力欄を複数配置した第一の区域と、ユーザの個人情報に応じた情報を取得するためのリンクが設定された画像を配置する第二の区域と、ユーザの特別の要求なく取得される情報を表示する画像を配置した第三の区域という、性質の異なる情報へアクセスするための3つの区域

を配置して構成される。

【0090】更に、画面右側上部には、スケジュール表を閲覧する画面へのリンクが設定された画像（内部にマイスケジュールと表記されている。）が配置され、画面左側上部には、後述する「一の情報の送信要求」を、情報送信装置に対して行うための画像（内部にリロードと表記されている。）が配置されている。

【0091】「第一の区域」に配置されるキーワード入力欄は、当該取得する情報の種類毎に特化されている。具体的には、音楽に関する情報を取得するためのキーワード入力欄のほか、書籍に関する情報を取得するための入力欄、チケットに関する情報を取得するための入力欄、ゲームに関する情報を取得するための入力欄、テレビ、ラジオ番組等のメディアに関する情報を取得するための入力欄がある。

【0092】ユーザは、例えば、あるアーティストに関するCDアルバムのタイトルを検索したいときは、入力手段13から、当該第一の区域の音楽に特化されたキーワード入力欄に当該所望のアーティスト名を入力し、「GO」を選択する。

【0093】ここで、ユーザ側記憶手段15には、上記第一の区域上のキーワード入力欄に対応する情報を格納するための各別のファイル（具体的には音楽、書籍、チケット、ゲームに関する情報の各ファイル）を設けて情報を管理する。従って、例えば、音楽情報のキーワード入力欄からキーワードが入力されたとき、ユーザ側処理手段12は、当該音楽情報のキーワード入力欄に対応するファイルのみにアクセスして直ちに検索を行い、検索結果を表示する。これにより、処理の効率化を実現する。

【0094】「第二の区域」には、ユーザの個人情報に応じた情報を取得するためのリンクが設定された画像が配置されている。具体的には、商品検索サービスの画面にリンクした画像（当該画像の下にshoppingと表記されている）、相手紹介サービスの画面にリンクした画像（当該画像の下にmeetingと表記されている）、更には上述の相手紹介サービスにより、当該ユーザを紹介された他のユーザ等から受信したメッセージを閲覧するための画面にリンクした画像（当該画像の下にmessageと表記されている）を配置する。ここで、ユーザ側記憶手段15には、上記第二の区域のメッセージ閲覧画面にリンクした画像に対応するファイルを設けて、当該ユーザに宛てられたメッセージ情報を管理する。一方、上記商品検索サービスの画面にリンクした画像、相手紹介サービスの画面にリンクした画像が選択されたときは、直ちにサーバである情報送信装置に対する接続処理が行われる（この際に、後述する「一の情報の送信要求」も同時に行われる）。商品検索サービス及び相手紹介サービスにおいては、サーバ側で保有する最新の情報を利用する必要があるからである。

【0095】「第一の区域」と異なり、当該「第二の区域」に配置された画像を選択する事により取得される情報は、各ユーザの個人情報を含め登録しておき、各ユーザ間の当該個人情報を、情報送信装置を介して交換する仕組みを構築して初めて取得可能になるものである。

【0096】従ってユーザは、当該情報を取得する前提として、自己の「個人情報」をユーザ登録する必要がある。この「個人情報」は、例えば、後に詳述する相手検索サービスにより相手ユーザの紹介を受ける前提として開示する、自己の氏名、ハンドル名、住所、年齢、職業、趣味、自己PRのコメントといったプロフィールや、後に詳述する商品検索サービスにより検索した商品を購入するに際し、売買の相手方との決済処理を行うためのクレジットカード番号、更にはEメールアドレス等が想定できる。この「個人情報」の登録形式は、本システム専用のアプリケーションソフトを当該ユーザの端末にインストールする際に登録を要求し、登録処理を行う形式が最も望ましい。登録された個人情報は、サーバである情報送信装置に送信され、ユーザ情報データベース243で各ユーザ毎に管理されることになる。

【0097】「第三の区域」には、ユーザの特別の要求なく取得される情報を表示する画像を配置する。具体的には、今日及び明日の天気象徴する画像と今日の運勢象徴する画像、今週開催されるイベントの広告をテロップ表示した文字情報が配置されている。

【0098】これらの画像又は文字情報は、当該情報取得端末において、システム専用のアプリケーションを立ち上げた際に、まず、サーバである情報送信装置へ自動的にアクセスし、新しく生成された情報を取得するという点で、前記「第一の区域」や「第二の区域」により取得される情報が、当該ユーザによる当該情報取得端末の操作に対するレスポンスとしてのみ取得される点と性質を異にする。

【0099】ここで、ユーザ側記憶手段15には、上記第三の区域上の各画像及び文字情報に対応する各別のファイルを設定して情報を格納する。

【0100】上述のように、ユーザ側記憶手段15には、第一の区域、第二の区域、第三の区域に配置された各キーワード入力欄と、画像（商品検索サービスの画面にリンクした画像と相手紹介サービスの画面にリンクした画像を除く）と、文字情報とに対応するファイルを設定して情報を管理する。当該各ファイルの内容は、サーバである情報送信装置の側から新規な情報を補充することにより更新される。

【0101】一方、サーバである当該情報送信装置でも、基本情報データベース241を設け、当該情報送信装置内で生成された、或いは他の外部の装置から受信した情報を、上記キーワード入力欄、画像、文字情報に対応付けて設けられた各ファイル毎に区分して蓄積していく。そして、各情報取得端末は、当該サーバ側の基本情

報データベース241に蓄積されていく情報のうち、自己の情報取得端末に送信されていないと判定された新規な情報を受信することにより、ユーザ側記憶手段15における上記各ファイルの内容を更新することになる。

【0102】但し、情報取得端末側における、上記各ファイルの更新は、キーワード入力欄、画像、文字情報毎に個別に行われるものではない。情報取得端末が、後述する「一の情報の送信要求」をサーバである情報送信装置に行った際に、上記各ファイルに格納されるべき新規な情報（当該情報取得端末へそれまで送信されていない情報）が上記基本情報データベース241から読み出され、この読み出された情報を纏めて受信することにより、ユーザ側記憶手段15における各ファイルの情報が一体として更新されることになる。この際の具体的処理については次項で詳述する。

【0103】〔情報送信装置における情報送信の基本的処理〕

【0104】情報送信装置における情報送信の基本的処理とは、情報取得端末から「一の情報の送信要求」を受け取ったとき、情報送信装置が、当該基本情報データベース241に格納された各ファイルの情報のうち、当該情報取得端末に送信していないと判定したすべての情報を送信する処理をいう。

【0105】「一の情報の送信要求」とは、当該情報取得端末が、基本情報データベース241に格納された情報を取得するために情報送信装置へアクセスすることを意味する。

【0106】この「一の情報の送信要求」は、原則として当該情報アクセス画面の「リロード」を入力手段13より選択することにより行われるが、「第二の区域」に配置された「商品検索サービスの画面にリンクした画像」及び「相手紹介サービスの画面にリンクした画像」が入力手段13より選択された場合にも、直ちに「一の情報の送信要求」を行う。「商品検索サービスの画面にリンクした画像」又は「相手紹介サービスの画面にリンクした画像」が入力手段13より選択された場合は、サーバである情報送信装置により、後に詳述する商品検索サービス、相手紹介サービスが実行されるが、これらの処理の実行中、当該情報取得端末と情報送信装置との接続状態が保たれることから、この間、マルチタスクにより当該情報送信の基本的処理が当該情報送信装置によって実行されることになる。

【0107】当該基本的処理を実現するため、サーバ側記憶手段24のあるエリアには、各情報取得端末に送信されていない情報の判定条件を、当該各情報取得端末の識別情報と関連付けて格納する未送信情報判定条件データベース242を設ける。この「各情報取得端末に送信されていない情報の判定条件」とは、例えば、各情報取得端末が当該情報送信装置に前回アクセスしてきた日時

10

20

30

40

50

【0108】以下、図3に示すフローチャートを参照しつつ当該基本的処理について説明する。

【0109】入力手段13より、アクセス画面上の「リロード」または、「商品検索サービスの画面にリンクした画像」、「相手紹介サービスの画面にリンクした画像」が選択されたときは、ユーザ側処理手段12はユーザ側通信手段11を介して、情報送信装置に「一の情報の送信要求」及び当該情報取得端末の識別情報を送信する(111)。

【0110】「一の情報の送信要求」を受け取ったサーバ側処理手段23は、当該情報取得端末の前回のアクセス日時を、未送信情報判定条件データベース242より読み出す(112)。

【0111】次に、サーバ側処理手段23は、当該読み出したアクセス日時と、上記基本情報データベース241に格納している各ファイルの更新日時とを比較し、前回のアクセス日時以降に更新されたファイルを、当該情報取得端末に送信されていない情報を格納したファイルと判定する(113)。

【0112】更に、サーバ側処理手段23は、当該情報取得端末に送信されていないと判定したファイルの情報であって、前回のアクセス日時以降に補充された新しい情報を基本情報データベース241より抽出する(114)。

【0113】そして、サーバ側処理手段23は、当該抽出した情報を、サーバ側通信手段22を介して情報取得端末に送信する(115)。

【0114】ユーザ側処理手段12は、情報送信装置より受信した情報を、情報アクセス画面上の各キーワード入力欄、画像、文字情報に対応した各ファイル毎にユーザ側記憶手段15に格納する(116)。

【0115】以上で、すべての処理が終了する。

【0116】〔情報アクセス画面上の特定画像の表示態様の変更〕

【0117】上述のように、本システムにおいて、「一の情報の送信要求」を行った情報取得端末は、原則として、上記情報アクセス画面上の各キーワード入力欄と、画像(商品検索サービスの画面にリンクした画像と相手紹介サービスの画面にリンクした画像を除く)と、文字情報とに対応する情報であって、当該情報取得端末に送信されていないと判定された情報を情報送信装置より一体として受け取るが、当該情報を受け取ったことにより、第一の区域に設けられた各キーワード入力欄又は第二の区域に設けられたメッセージ閲覧画面にリンクした画像に対応するファイルに新規な情報が含まれる事となったとき、ユーザ側処理手段12は、当該情報アクセス画面上における、当該画像、キーワード入力欄の表示態様を変更する。

【0118】例えば、図4に示す情報アクセス画面では、「メッセージ閲覧画面にリンクした画像」に、旗を

かたどったマークが付加されている。これにより、当該画像を入力手段13より選択して、当該画像に対応する新しい情報を受け取っているかを確認しなくても、当該情報アクセス画面のみを一見しただけで、メッセージを受け取ったことを容易に認識できる。同様に、第二の区域のいずれかのキーワード入力欄に対応するファイルの情報が新規なものとなったときも、旗をかたどったマークが当該入力欄に付加されることになる。

【0119】〔情報送信装置における情報送信の応用的処理〕

【0120】以下、情報送信装置における情報送信の応用的処理を説明する。この応用的処理とは、情報送信の際の保存期限情報付加処理と、取得情報限定処理を意味する。

【0121】保存期限情報付加処理は、サーバ側処理手段23が、サーバ側記憶手段24より情報を抽出した際、保存期限情報を生成し、当該抽出した情報に付加した上で送信する処理をいう。そして、この保存期限情報とは、予め設定された保存期限経過後、ユーザ側処理手段12が、当該情報送信装置から送信された情報をユーザ側記憶手段15より抹消するための期限管理情報をいう。

【0122】サーバ側処理手段23は、上記基本的処理において、「一の情報の送信要求」を行った当該情報取得端末に送信していないと判定した情報を、サーバ側記憶手段24の基本情報データベース241より抽出した際(図3のフローチャートに示す114の処理)、保存期限情報を生成する。そして、当該抽出した情報と当該保存期限情報を関連付けて当該情報取得端末に送信する。

【0123】この処理の後、当該抽出した情報を受け取った情報取得端末のユーザ側処理手段12は、当該抽出した情報をユーザ側記憶手段15に保持する期限を、当該保存期限情報に基づき管理し、当該保存期限の経過した情報をユーザ側記憶手段15から消去させる。従って、情報送信装置から受信してユーザ側記憶手段15に蓄積されていく情報のうち、時間の経過により不要となった情報の個別整理を容易に行うことができる。

【0124】取得情報限定処理とは、情報取得端末より「送信情報限定要求」を受信した後は、当該情報取得端末に送信する情報を限定する処理をいう。そして「送信情報限定要求」とは、情報送信装置から送信される情報を、後述する使用休止操作がされていない情報に限定するための要求をいう。

【0125】最初に、情報取得端末から送信情報限定要求を受け取ってサーバ側記憶手段24に格納するまでの処理を図5に示すフローチャートを参照しつつ説明する。

【0126】先ずユーザが、入力手段13により、情報アクセス画面の第一の区域における、いずれかのキーワ

ード入力欄の、使用休止操作を行う(211)。使用休止操作とは、例えば、当該ユーザがさしあたって検索に使用する予定のないキーワード入力欄をドラッグし、画面下の「削除」の文字ヘドロップする操作をいう。尚、本システムにおいて使用休止操作ができるのは、第一の区域に配置された各キーワード入力欄のみである。

【0127】ユーザ側処理手段12は、上記使用休止操作を受けて、当該情報アクセス画面上から、当該使用休止操作されたキーワード入力欄を削除する(212)。

【0128】ユーザ側処理手段12は、「一の情報の送信要求」に対し、情報送信装置より次回以降送信される情報を、当該情報取得端末に送信されていない情報であって、且つ当該使用休止操作された入力欄に対応する情報を除いたものに限定するための送信情報限定要求を、情報取得端末に送信する(213)。

【0129】送信情報限定要求を受信したとき、サーバ側処理手段23は、当該要求を当該情報取得端末の識別情報と関連付けてサーバ側記憶手段24に格納する(214)。

【0130】次に、上記送信情報限定要求を行った情報取得端末から「一の情報の送信要求」を受け取った情報送信装置における情報送信処理を、図6に示すフローチャートを参照しつつ説明する。

【0131】サーバ側記憶手段24に上記送信情報限定要求が格納されているときでも、当該情報取得端末より「一の情報の送信要求」を受信した際に、当該情報取得端末に送信されていない情報を判定するまでの処理は、上記情報送信の基本的処理と同様に行う(311~313)。

【0132】上記判定後、サーバ側処理手段23は、当該情報取得端末の識別情報と関連付けられた送信情報限定要求をサーバ側記憶手段24より読み出し、当該送信情報限定要求に基づいて、使用休止操作されているキーワード入力欄を特定する(314)。

【0133】サーバ側処理手段23は、上記情報取得端末に送信されていない情報を含むと判定したファイルから、当該使用休止操作された入力欄に対応するファイル以外のファイルを選定する(315)。

【0134】サーバ側処理手段23は、上記選定されたファイルの情報であって、前回のアクセス日時以降に補充された新しい情報を基本情報データベース241より抽出する(316)。

【0135】そして、サーバ側処理手段23は、当該抽出した情報を、サーバ側通信手段22を介して情報取得端末に送信する(317)。

【0136】情報取得端末のユーザ側処理手段12は、情報送信手段より受信した情報を、情報アクセス画面上の各キーワード入力欄、画像、文字情報に対応した各ファイルに格納する(318)。

【0137】以上ですべての処理が終了する。

【0138】「商品検索サービス」

【0139】商品検索サービスは、上記情報アクセス画面の第二の区域に配置された「商品検索サービスの画面にリンクした画像」を入力手段13より選択したユーザに対し提供されるサービスであり、本システムの特徴的な処理の一つを情報送信装置に実行させるものである。

【0140】本サービスにおける処理を実行する前提として、サーバ側記憶手段24のあるエリアには、商品情報データベース244、販売者データベース245、更に配送料データベース246を設ける。

【0141】「商品情報データベース244」には、本システムにより購入申込み可能な商品の「商品情報」を格納しており、当該データベースは、いわゆるリレーショナル型のデータ構造をとっている。

【0142】図7に、当該商品情報データベース244のデータ構造を示す。当該データベースにおいて、一つの商品情報のレコードを構成するフィールドは、本システムを利用して購入可能な各商品の商品名、当該商品の価格、当該商品の販売者の氏名又は名称、当該販売者が個人か法人かを識別する情報、当該商品が新品であるか、それとも中古品であるかを識別する情報、当該商品の基本配送料金の順に並んでいる。

【0143】「販売者データベース245」も上記と同様にリレーショナル型のデータ構造をとっており、「販売者情報」を格納する。

【0144】図8に当該商品情報データベース244のデータ構造を示す。当該データベースにおいて、一つの販売者情報のレコードを構成するフィールドは、本システムを介して商品を販売する各販売者の氏名又は名称、当該販売者が、上記商品情報を登録する際に支払う仲介手数料、当該販売者の本システムを介しての過去の商品取引回数の順に並んでいる。

【0145】「配送料データベース246」には、本サービスにより商品購入を申込みユーザが指定した配送日に応じた配送料を算定する際に利用する、配送日算定チャートを格納する。配送日算定チャートの内容については、後に詳述する。

【0146】以下、本システムにおける商品検索サービスの具体的な処理を、図9乃至図10に示すフローチャートを参照しつつ説明する。

【0147】情報取得端末において、ユーザが、入力手段13より情報アクセス画面の「商品検索サービスの画面にリンクした画像」を選択したとき、ユーザ側処理手段12は、商品検索サービスの検索条件入力画面を表示手段14に表示する(411)。

【0148】図11は、商品検索サービスの検索条件入力画面を示す図である。画面上段には、検索する商品の商品名を入力する欄が、画面中段には検索する商品の状態を選択する欄が、画面下段には商品の販売者を選択する欄がそれぞれ配置されて、更に画面最下段には、「確

定」が配置されている。

【0149】ユーザは、入力手段13より、検索する商品の商品名を入力し、商品の状態を「新品」、「不問」、「中古」の中から選択し、更に販売者を「個人提供」、「提供不問」、「法人提供」の中から選択し、「確定」を選択する(412)。ここでは商品名について「アイボ」と入力し、商品の状態について「不問」を、販売者について「提供不問」を選択したと仮定する。

【0150】次に、ユーザ側処理手段12は、上記確定した検索条件を、ユーザ側通信手段11を介して情報送信装置に送信し、サーバ側処理手段23はこれを受け取る(413)。

【0151】検索条件を受信した情報送信装置のサーバ側処理手段23は、当該検索条件に合致する商品の商品情報を商品情報データベース244より検索する(414)。

【0152】次に、サーバ側処理手段23は、当該商品の価格をキーとしたソート処理を行うことにより、当該検索した商品情報を、当該販売価格の安い順に配列する(415)。

【0153】サーバ側処理手段23は、以上の処理により、検索したすべての商品情報の順位が確定したか判定する(416)。

【0154】販売価格が同一であることにより、順位が確定できない商品情報が存在するとき、サーバ側処理手段23は、上記検索した商品情報をサーバ側記憶手段24に暫定的に格納すると共に、販売者データベース245から上記順位未確定商品の販売者に関連付けられた仲介手数料を読み出す(417)。

【0155】そして、当該読み出した仲介手数料をキーとしたソート処理を行うことにより、上記サーバ側記憶手段24に暫定的に格納した商品情報の順位未確定商品を、当該仲介手数料の高い順に配列する(418)。

【0156】サーバ側処理手段23は、以上の処理により、検索したすべての商品情報の順位が確定したか判定する(419)。

【0157】販売価格及び仲介手数料が同一であることにより、順位が確定できない商品情報が存在するとき、サーバ側処理手段23は、販売者データベース245から上記順位未確定商品の販売者に関連付けられた、当該販売者の過去の商品取引回数を読み出す(420)。

【0158】そして、当該読み出した商品取引回数をキーとしたソート処理を行うことにより、上記サーバ側記憶手段24に暫定的に格納した商品情報の順位未確定商品を、当該商品取引回数の高い順に配列する(421)。

【0159】サーバ側処理手段23は、以上の処理により順位が確定した商品情報に基づき商品検索リストを作

成する(422)。

【0160】商品検索リスト作成後、サーバ側処理手段23は、サーバ側通信手段22を介して当該リストを情報取得端末に送信し(423)、当該情報取得端末のユーザ側処理手段12は、受け取った商品検索リストを表示手段14に表示する。

【0161】図12は、表示手段14に表示される商品検索リストの画面を示す図である。本リストは、上記検索条件入力画面で入力した検索条件に合致する商品の商品情報(各商品の名称、価格、販売者、販売者が個人か法人かを識別する情報、新品であるか中古品であるかを識別する情報)を、商品の価格の低い順に配置する。当該画面には表示されないが、販売価格が同一の商品の順位付けが、販売者の仲介手数料、商品取り扱い回数によって決定されることは上述したところである。

【0162】また、当該リストの画面左端には、当該商品が中古品であるときは「USED」と、当該商品が新品であるときは「NEW」と表示されるが、この点は本システムに特徴的な要素であり、これにより、購入者は、当該商品が中古品或いは新品であるかどうかを販売者に個別に問合せることなく把握できる。

【0163】ユーザは、当該リストに表示された商品情報を参照し、入力手段13により購入を申込み商品を選択して反転表示させる。そして画面下の「確定」を選択することによりこれを確定させる(424)。

【0164】ユーザ側処理手段12は、購入申込みが確定した商品の識別情報を、ユーザ側通信手段11を介して情報送信装置に送信し、サーバ側処理手段23はこれを受け取る(425)。

【0165】サーバ側処理手段23は、当該受け取った商品の識別情報をサーバ側記憶手段24に暫定的に格納すると共に、配送料データベース246から配送料算定チャートを読み出す(426)。

【0166】図13は配送料算定チャートを示す図である。当該チャートにおける配送料の算定率は、7月14日(金曜日)についての算定率が0.95、それ以外については1.00と設定されている。最終的な配送料は、上記商品情報に含まれる基本配送料に、当該配送料算定チャートにおける上記配送料算定率を掛けることにより算定される。通常、オンラインにより商品の販売を申込んだ場合における当該商品の配送は、決まったスケジュールに従い行われるが、本実施形態において、配送業者の商品受け取り場所(例えばコンビニエンスストア)への巡回は毎週金曜日に行うことを原則とする。従って、金曜日が商品配送日として指定された場合は配送料を5%割引いて算出するように料金体系を定める。このように特定の配送日を指定した場合に配送料が安くなるような料金体系とすれば、配送業者の配送スケジュールに合致するような配送日指定とするインセンティブをユーザに与えることができ、複数の商品を一括して配

送する等による配送の効率化を実現できる。

【0167】サーバ側処理手段23は読み出した配送料算定チャートに基づき配送日選択リストを作成し、サーバ側通信手段22を介して情報取得端末に送信する(427)。

【0168】情報取得端末のユーザ側処理手段12は、当該受け取った配送日選択リストを表示手段14に表示する(428)。

【0169】図14は当該配送日選択リストの画面を示す図である。画面上部には「希望配送日を選択してください。金曜日を指定すると配送料が割引かれます。」という文字情報が表示されている。その下には、配送日として選択できる日及び当該配送日を選択したときの配送料割引率を表示する。

【0170】ユーザは、入力手段13より、上記配送日選択リストの希望配送日を選択して、チェックボックスにチェックを入れ、画面下の確定を選択する(429)。ここでは、7月14日(金曜日)が選択されたと仮定する。

【0171】選択された配送日の識別情報は、サーバ側通信手段22を介して、サーバ側処理手段23が受け取る(430)。

【0172】配送日の識別情報を受け取った後、サーバ側処理手段23は、当該商品の配送料を算定する(431)。配送料の算定は、当該購入申込みが確定した当該商品の基本配送料に、上記配送日選択リストから選択された配送日(7月16日)に対応する配送日算定率(金曜日が指定されたときは0.95)を掛けることより行われる。

【0173】サーバ側処理手段23は、当該購入申込みが確定した商品及び当該商品の申込みを行ったユーザを識別する情報と、上記選択された配送日をサーバ側記憶手段24に格納すると共に、購入申込み終了画面の表示データを作成し、情報取得端末に送信する(432)。

【0174】当該情報取得端末のユーザ側処理手段12は、当該購入申込み終了画面を表示手段14に表示する(433)。図15は購入申込み終了画面を示す図である。画面最上部には購入申込み商品名を表示し、画面中段には、当該商品の販売価格、上記算定された当該商品の配送料、それらの合計額が表示される。

【0175】以上で、商品検索サービスに関するすべての処理が終了する。

【0176】〔相手紹介サービス〕

【0177】相手紹介サービスは、上記情報アクセス画面の第二の区域に配置された「相手紹介サービスの画面にリンクした画像」を、入力手段13より選択したユーザに対し提供されるサービスであり、本システムの特徴的な処理の一つを情報送信装置に実行させるものである。

【0178】当該相手紹介サービスの処理は、各情報取

得端末においてユーザ登録された「個人情報」を各情報取得端末から情報送信装置が取得すると共に、この「個人情報」をユーザ情報データベース243で管理することにより実現される処理である。

【0179】この「個人情報」には、自己の氏名、ハンドル名、住所、年齢、職業、趣味、自己PRのコメントといったプロフィールや、クレジットカード番号、更にはEメールアドレス等が含まれることは既に述べた。

【0180】本サービスにおいては、この「個人情報」を、後述の紹介希望条件を提示した他のユーザに開示する「相手情報」として利用する。但し、当該「個人情報」のうち、いずれの情報も他のユーザに開示するかは、上記ユーザ登録の際、当該ユーザ自身が決定する。例えば、自己のハンドル名、趣味、年齢のみを開示するにとどめることも可能である。

【0181】本サービスは、ユーザから出合いの相手方に求める紹介希望条件(例えば年齢、職業、趣味等)を受け取ったサーバ側処理手段23が、当該紹介希望条件に合致するユーザの相手情報をユーザ情報データベース243より検索し、サーバ側通信手段22を介して当該情報取得端末に送信するといった処理により行われるものであり、この点は従来からインターネットの出会い実現Webサイト等において行われている処理とあまり相違点がない。

【0182】但し、本サービスにおいて上記「相手情報」は、当該相手紹介サービスに利用するためだけに登録された情報でなく、上記商品検索サービス等を利用する際にも共通に使用するものとして登録される「個人情報」から抽出された情報であるという点で、上記出会い実現Webサイト等と相違するものである。即ち、この「個人情報」として自己に関する虚偽の情報をユーザ登録したユーザが、上記商品検索サービスにより検索した商品の購入申込みを行った場合、決済処理、或いは当該申込みを行った商品の受け取り等が事実上不可能となるため、虚偽のユーザ登録が行われる可能性が極めて少なくなる。

【0183】従って、プロフィールが真性なものかを、相手方はもちろんサーバの管理者も知ることが困難である。従来の出会い実現Webサイト等において横行していた、虚偽のプロフィールを登録した相手方を紹介されたことによるトラブルを極めて発生にくくすることが出来る。

【0184】〔スケジュール追加サービス〕

【0185】スケジュール追加サービスは、後述のイベントリストから、ユーザが選択したイベントの情報を、当該ユーザのスケジュール情報の当該イベント対応日に挿入するサービスであり、本システムの特徴的な処理の一つを情報取得端末に実行させるものである。

【0186】本サービスにおける処理を実行する前提として、ユーザ側記憶手段15のあるエリアには、スケジ

ジュール情報ファイル及びイベント情報ファイル（図示せず）を設ける。

【0187】スケジュール情報ファイルには、当該ユーザの予定を1週間単位で表示した予定表であるスケジュール情報を格納する。当該スケジュール情報は、情報アクセス画面の右上に配置された「マイスケジュール」を入力手段13により選択したときに、ユーザ側処理手段12が表示手段14に表示する。

【0188】図16は、上記「マイスケジュール」が選択されたとき、ユーザ側処理手段12が表示手段14に

10

表示する、スケジュール情報の画面の一例を示す図である。

【0189】当該スケジュール情報の画面は、1週間ごとの当該ユーザのスケジュールを表示するものであり、画面上段には、西暦年数、月、週がそれぞれ表示される。画面左には、月曜日から日曜日までに対応する日付が縦に配置されており、その右側には、後述のイベントリスト画面から選択されたイベント情報を表示するイベント表示欄、ユーザが入力したメモを表示するメモ表示欄が、各曜日に対応付けて配置されている。このメモ表示欄には、入力手段13から、当該ユーザの個人的な予定を自由に書き込むことができる。例えば図16に記載されたスケジュール情報の7月12日のメモ表示欄には「定期券の購入で費用17830円。映画に行く時に○君にお金を返してもらう予定」との、当該ユーザによる書きこみが既になされている。

【0190】また、ユーザは次週のスケジュール情報を参照したいとき、または次週のスケジュール情報のメモ表示欄に書き込みをしたいときは、入力手段13から、画面最下段の「NEXT WEEK」を選択する。この

30

選択を受けて、ユーザ側処理手段12は、次週のスケジュール情報を表示手段14に表示させる。

【0191】一方、「イベント情報ファイル」には、「イベント情報」を格納する。この「イベント情報」とは、向こう1週間に行われる、コンサート、ライブ等のイベントの名称及びその開催日時、開催場所及び当該開催場所への交通手段、入場券の価格及びその残存状況に関するデータを含む。

【0192】また、この「イベント情報ファイル」の更新も、前述した情報送信の基本的処理の実行により、上

40

記情報アクセス画面上の各キーワード入力欄、画像等に対応するファイルの更新と一体的に行われる。

【0193】一方、上記「イベント情報ファイル」を更新する前提として、情報送信装置の側では、外部の端末から新しいイベント情報を受け取ってサーバ側記憶手段24の基本情報データベース241に格納するものであるが、この際における、外部の端末からの登録処理を説明しておく。

【0194】この外部の端末とは、宣伝したいイベントの情報を登録したい者の端末であり、通常は、イベント

50

開催業者の端末が想定できる。本実施形態において、当該情報送信装置は、通常のユーザに対し提供するサービスとは別に、イベント情報の登録を望む者がアクセスするための専用のWebページを運営する。当該イベント情報の登録を希望する際は、まずこのWebページにアクセスする。

【0195】イベント情報の登録Webページは、イベント情報として各情報取得端末に配布する事項を入力するための、所定のフォーマットに従って構成されており、当該登録希望者は、当該フォーマットに従い登録のための必要事項（イベント名、開催日時、当該イベントの入場券の価格、当該入場券の残存状況等）を入力する。そして、当該入力された事項がそのままイベント情報として上記基本情報データベース241の所定のファイルに格納される。

【0196】従って、情報の発信者であるイベントの宣伝者の端末から、情報送信装置、そしてエンドユーザである情報取得端末への一連の情報の流通を、オンライン処理により実行することができ、情報送信装置の側で、オペレータによる情報の加工や、新たな情報の付加といった処理を行う必要がない。

【0197】以下、図17に示すフローチャートを参照しつつ、当該スケジュール追加サービスの具体的処理について説明する。

【0198】まず、上記情報アクセス画面の「今週開催されるイベントの広告をテロップ表示した文字情報」を参照し、当該テロップ表示された文字情報が広告するイベントに興味を持ったユーザは、当該文字情報を入力手段13より選択する（511）。

【0199】この文字情報は、今週開催されるイベントの広告をテロップ表示するテロップ表示部を有する。例えば、イベント情報ファイルに「サザンオールスターズライブイベント茅ヶ崎ライブ追加公演」に関するイベント情報があるときは、ユーザ側処理手段12が、サーバである情報送信装置から受信してユーザ側記憶手段15に格納している情報に基づき、「サザンオールスターズライブイベント茅ヶ崎ライブ追加公演」という広告をテロップ表示する。この広告を表示するためのデータを格納したファイルの更新も、前述した情報送信の基本的処理の実行により、上記情報アクセス画面上の各キーワード入力欄、画像等に対応するファイルの更新と一体的に行われる。

【0200】更に、当該文字情報は、当該テロップ表示部の表示内容に関するイベントリスト画面へのリンクとを備え、当該テロップ表示部の周縁に上記イベントリスト画面へのリンクを配置するという構造を有している。この点は、従来と異なる、当該情報アクセス画面に特徴的な点の一つである。

【0201】かかる構造を備えることにより、本システムの情報アクセス画面において、イベントリスト画面に

リンクしたボタンを広告表示と別個に設ける必要がなくなる。

【0202】従って、当該テロップ表示を参照したユーザが、当該テロップ表示に広告されるイベントリスト画面を参照したいときは、当該テロップ表示部自体を入力手段13より選択すればよいので、イベントリスト画面にリンクしたボタンを当該情報アクセス画面上から探す手間が省略できる。

【0203】上記文字情報が選択されたとき、ユーザ側処理手段12は、ユーザ側記憶手段15のイベント情報 10 ファイルからイベント情報を読み出す(512)。

【0204】そして、ユーザ側処理手段12は、読み出したイベント情報に基づきイベントリスト画面の表示データを作成し、表示手段14に表示する(513)。

【0205】図18は、ある週に開催されるイベントに関するイベントリストの画面を示す図である。画面上部には、この週に開催されるイベントのイベント名、開催日時、当該イベントの入場券の価格、当該入場券の残存状況を各イベント毎に配置したリストを表示する。更に、ユーザ側処理手段12は、当該表示手段14の画面 20 下部に、上記リストから入力手段13より選択され、反転表示されているイベントに関する情報を表示する。具体的には、画面下部左に開催日時と開催場所を、画面下部右に当該会場へのアクセス方法を表示する。

【0206】ユーザは、上記イベントリストに表示された各イベント情報を参照し、参加を予定したいイベントがあるか判断する。そして、参加を予定するイベントが存在しないときは、当該イベントリスト画面右上の「キャンセル」を選択する一方、参加を予定するイベントが存在するときは、入力手段13より、スケジュール追加 30 操作を行う(514)。当該スケジュール追加操作は、当該参加予定のイベントを選択して反転表示させた状態で、画面下の「確定」を選択することにより行われる。ここでは、当該ユーザが、7月14日に開催される「サザンオールスターズライブイベント」を選択したと仮定する。

【0207】画面左上の「確定」が選択されたとき、ユーザ側処理手段12は、スケジュール情報ファイルよりスケジュール情報を読み出す(515)。

【0208】次に、ユーザ側処理手段12は、読み出したスケジュール情報のイベント表示欄の、7月14日に対応する個所に、当該ユーザに選択されたイベント「サザンオールスターズライブイベント」に関する情報を挿入することにより当該スケジュール情報を更新する(516)。

【0209】そして、ユーザ側処理手段12は、更新したスケジュール情報をユーザ側記憶手段15のスケジュール情報ファイルに格納する(517)。

【0210】ユーザ側処理手段12は、イベント画面右上の「キャンセル」が選択され、又は、イベント情報に 50

基づき更新したスケジュール情報をスケジュール情報ファイルに格納したときは、すべての処理を終了させる。

【0211】上記スケジュール追加処理以降、ユーザが情報アクセス画面の「マイスケジュール」を選択したことにより表示手段14に表示されるスケジュール情報には、例えば、図19に示すように、当該スケジュール追加サービスにより追加されたイベント情報が表示されることになる。図19に示す予定表の7月14日のイベント表示欄には、「サザンオールスターズライブイベント 茅ヶ崎ライブ追加公演 ○○時開演」と表示されている。本実施形態におけるイベント追加サービスによれば、当該ユーザは、情報送信装置より受け取った情報により最新のイベントの開催情報を容易に把握でき、更に当該イベントの開催情報から、自己が参加を予定するイベントを極めて簡易な操作により自己のスケジュール情報に加えることができる。

【0212】ここで本発明は、上記実施形態に限られない。

【0213】上記情報送信の基本的処理において、各情報取得端末に送信していない情報を送信する方法は、未送信情報判定条件データベース242に各情報取得端末が前回アクセスした日時を格納することによって実現される方法に限定するものでない。例えば、サーバ側記憶手段24に新しい情報が追加されるたびに当該新しい情報に情報コードを付与する一方、未送信情報判定条件データベース242には各情報取得端末の識別情報と関連付けて当該情報取得端末へ送信した情報の情報コードを格納しておき、「一の情報の送信要求」を受けたときは、当該情報取得端末の識別情報と関連付けられた情報コード以外の情報コードが付された情報を、未送信の情報と判定するといった手法によってもよい。

【0214】上記情報送信の応用的処理の一つである保存期限情報付加処理は、サーバである情報送信装置の側で、抽出された情報と保存期限情報とを関連付けて情報取得端末に送信する処理であるが、当該保存期限情報を情報取得端末のユーザ側処理手段12が生成して保存期限の経過した情報を監視し、当該保存期限の経過した情報をユーザ側記憶手段15より抹消する構成によっても、時間の経過により不要となった情報の個別整理は実現できるため、かかる構成を採用してもよい。

【0215】上述の商品検索サービスの検索リスト作成において、商品自体の販売価格の安い順に商品情報を配列した後に配送料を算定するのではなく、まず、当該各商品の配送料を算定し、その後、当該算定した各配送料と各商品価格の合計額の安い順に商品情報を配列した商品検索リストを作成する構成を採用してもよい。

【0216】本実施形態において、ユーザの端末である情報取得端末と、サーバである情報送信装置とは、公衆回線50を介して接続されるが、当該情報取得端末と情報送信装置とが、インターネットサービスプロバイダ、

WWWサーバを介して接続されるようにしてもよい。

【0217】上述のスケジュール管理サービスにおいて、ユーザ側処理手段12が表示手段14に表示するスケジュール情報の画面は、1週間単位でユーザの予定を表示するものである必要はなく、2週間単位、或いは1ヶ月単位で当該ユーザの予定を表示するものであってもよい。

【0218】また、基本情報データベース241へのイベント情報の格納は、外部の端末からの登録処理により実行されることは上述したところであるが、上記商品情報データベース244への商品情報の格納もこれと同様に、外部の端末からの登録処理により実行される構成としてもよい。この登録処理としては、当該情報送信装置が、本システムを利用して販売したい商品の商品名、当該商品の価格、当該商品が新品であるか、それとも中古品であるかを識別する情報等を入力するための専用のWebページを設け、サーバ側処理手段23が、当該Webページにアクセスした者から入力された上記所定事項を、そのまま商品情報として商品情報データベース244に格納するといった処理が想定できる。

【0219】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、通信ネットワークを介して情報を取得したいユーザに対し、画面上的画像又は文字情報の選択、又はキーワードの入力という極めて簡易な操作により目的とする情報へ直ちに到達することを可能にするという従来になかった優れた情報アクセス画面を提供する。

【0220】請求項2記載の発明によれば、複数の情報を格納可能な情報取得端末のユーザが、取得後すぐに使用するであろう「一の情報」の送信要求に対し、当該情報取得端末に送信していないと判定された他の情報をも送信する。このように、ユーザの端末とサーバとが接続されたときに、直接送信を要求されていないデータを含めて新しい情報を送信する構成を採用することにより、例えば、長期間要求を行っていない情報の送信要求を行った場合に、その間に蓄積された情報をすべて受信することとなる結果、サーバに要求する情報の種類によっては接続時間が長時間に及ぶことがあるといった従来の問題を解消し、システム全体としての情報の送受信を効率化できる。

【0221】請求項3記載及び4記載の発明は、請求項2記載の情報送信装置から情報取得端末に送信した情報を、予め定められた保存期限経過後、当該情報取得端末の記憶手段から抹消させる構成をとるため、当該情報取得端末のユーザが、利用時期の経過した情報を抹消する処理を独自に行わなくても、時間の経過により不要となった情報の個別整理を容易化することができる。

【0222】請求項5記載の発明によれば、請求項2の情報送信装置から受信して記憶手段に蓄積された情報が、当該情報アクセス画面に配置された、どの「文字又

は/及び画像」にリンクした情報であるかを、当該情報アクセス画面を一見しただけで判断できる。従って、情報送信装置から情報を受信して記憶手段に蓄積する都度、各情報へのリンクが設定された「文字又は/及び画像」を選択して、関連情報のどれが新しいものとなっているかを確認しなければならないという事態を回避できる。

【0223】請求項6記載の発明は、請求項2記載の情報送信装置から情報を取得する情報送信装置の情報アクセス画面に、取得したい情報の種類毎に特化されたキーワード入力欄を複数配置する構成を採るため、取得したい情報毎の検索ページを複数階層状に設けることなく、一つの画面の各キーワード入力欄からのキーワード入力を行った次の画面で、直ちに検索結果を表示させるといった処理を実現できるという従来になかった優れた作用効果を奏する。

【0224】請求項7記載の発明は、請求項2記載の情報送信装置から情報を取得する情報送信装置の情報アクセス画面に、取得したい情報の種類毎に特化されたキーワード入力欄を配置すると共に、全く活用する予定のないキーワード入力欄の使用休止操作を受け付けたときは、当該使用休止操作された入力欄に対応する情報の取得を拒否する。従って、全く活用する予定のない情報まで請求項2記載の情報送信装置から受信することによる、無駄なアクセス時間の浪費を回避し、ユーザに課される回線使用料金の低廉化を実現するという従来になかった優れた作用効果を実現する。

【0225】請求項8記載の発明によれば、テロップ表示と当該テロップ表示の内容に関する情報へのリンクを備えたボタンを一画面上に別個に設ける必要がなく、当該テロップ表示に関連する画面へのリンクを備えたボタンを探す手間が省けるという従来になかった優れた作用効果を奏する。

【0226】請求項9記載の発明によれば、通信ネットワークを利用して購入する商品を検索するに際し、検索結果である商品検索リストに当該商品が新品か中古品かを表示するため、当該商品が新品であるか中古品であるかを販売者等に個別に問合せする必要がなくなるという従来になかった優れた作用効果を奏する。

【0227】請求項10記載の発明によれば、通信ネットワークを利用して購入可能な同種商品を検索して検索リストを作成する際の、各商品情報の配列を決定するに際し、販売価格の安い商品を、ユーザに選択されやすい位置に配置し、更に販売価格をも同一である商品については、当該商品の販売者が納める販売手数料の高い商品を、ユーザに選択されやすい位置に配置する。従って、当該商品検索装置の運営者に対するマージンの増加を実現できるという従来になかった優れた効果を奏する。

【0228】請求項11記載の発明によれば、通信ネットワークを利用して購入可能な同種商品を検索して検索

リストを作成する際の、各商品情報の配列を決定するに際し、販売価格の安い商品を、ユーザに選択されやすい位置に配置し、更に販売価格をも同一である商品の配列については、過去の商品取引回数の多い販売者により販売される商品を、ユーザに選択されやすい位置に配置する。従って、当該商品検索装置の運営者による、安定的な商品仲介事業の運用の実現という従来にない優れた効果を奏する。

【0229】請求項12記載の発明によれば、配送日選択欄をユーザ側に出力すると共に当該配送日選択欄上から選択された配送日に応じて配送手数料を算定する。従って、一つの受け取り場所へ申込日の異なる複数の商品を纏めて配送するといったように、商品配送業者の配送スケジュール作成を容易化すると共に、商品配送を効率化できる。

【0230】請求項13記載の発明によれば、出会いを求めるユーザに開示するための相手情報と、通信ネットワークを介して商品の売買を行うために各ユーザから受け取った個人情報とを共通のものとするにより、出会いを求めるユーザに対し、信頼性の高い相手情報を提供でき、虚偽の相手情報が提供されたことに起因するトラブルを回避できる。

【0231】請求項14記載の発明によれば、サーバ側から受け取ったイベント情報に基づくスケジュール追加操作という簡易な操作により、当該ユーザのスケジュール情報を直ちに更新することができるので、当該ユーザのスケジュール管理が容易化するという従来にない優れた効果を奏する。

【0232】請求項15記載の発明によれば、通信ネットワークを利用して販売される商品を検索する商品検索処理、サーバから情報を受け取ってユーザの端末に蓄積する情報蓄積処理、紹介希望条件に合致する相手方を仲介する相手紹介処理、サーバから受け取ったイベント情報をもとに当該ユーザのスケジュールを更新するスケジュール更新処理という、従来であれば、複数のプログラムをインストールし、このプログラムを立ち上げなければ実現できなかった処理を、一つのプログラムにより実現できるという従来にない優れた作用効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の全体構成を示すブロック図である。

【図2】情報アクセス画面を示す図である。

【図3】情報送信の基本的処理を示すフローチャートで*

*ある。

【図4】表示態様の変更された情報アクセス画面を示す図である。

【図5】情報取得拒否処理を示すフローチャートである。

【図6】送信情報限定処理を示すフローチャートである。

【図7】商品情報データベース244のデータ構造を示す図である。

10 【図8】販売者データベース245のデータ構造を示す図である。

【図9】商品検索サービスの処理を示すフローチャートである（購入商品検索及び確定）。

【図10】商品検索サービスの処理を示すフローチャートである（配送料算定）。

【図11】検索条件入力画面を示す図である。

【図12】商品検索リストを示す図である。

【図13】配送料算定チャートを示す図である。

【図14】配送日選択リストを示す図である。

20 【図15】購入申込み終了画面を示す図である。

【図16】スケジュール情報の画面を示す図である。

【図17】スケジュール追加サービスの処理を示すフローチャートである。

【図18】イベントリストの画面を示す図である。

【図19】イベント情報が追加されたスケジュール情報の画面を示す図である。

【符号の説明】

11 ユーザ側通信手段

12 ユーザ側処理手段

30 13 入力手段

14 表示手段

15 ユーザ側記憶手段

22 サーバ側通信手段

23 サーバ側処理手段

24 サーバ側記憶手段

50 公衆回線

241 基本情報データベース

242 未送信情報判定条件データベース

243 ユーザ情報データベース

40 244 商品情報データベース

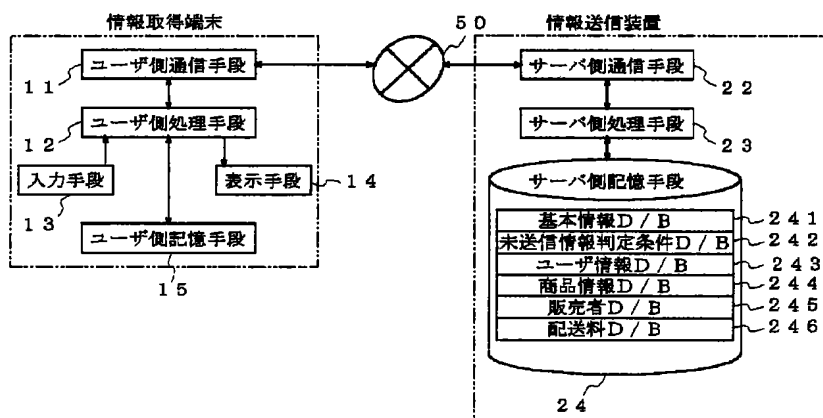
245 販売者データベース

246 配送料データベース

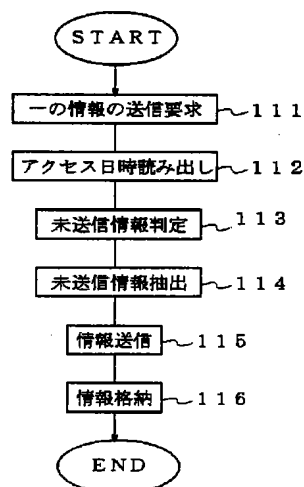
【図13】

日付	7/10 (月)	7/11 (火)	7/12 (水)	7/13 (木)	7/14 (金)	7/15 (土)	7/16 (日)
算定率	1.00	1.00	1.00	1.00	0.95	1.00	1.00

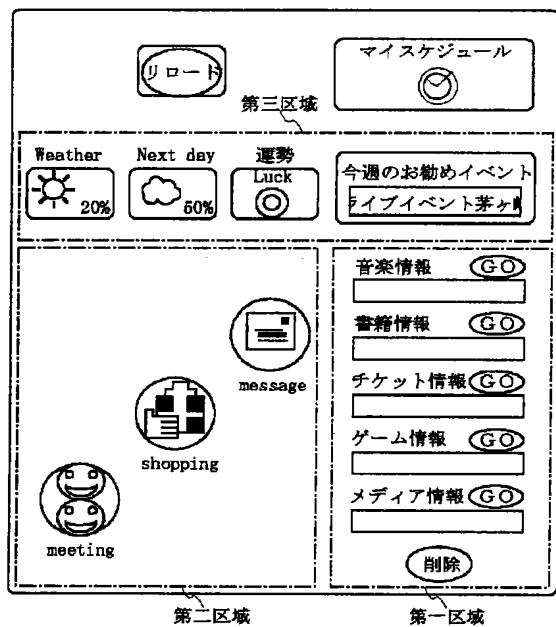
【図1】



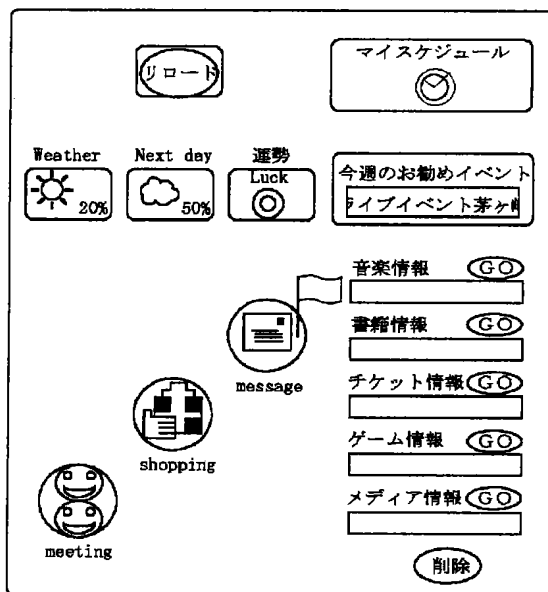
【図3】



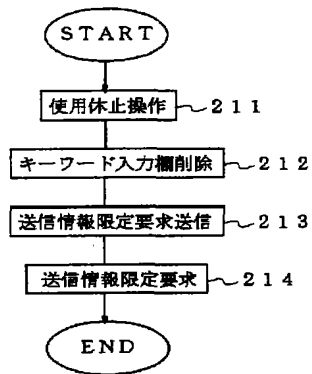
【図2】



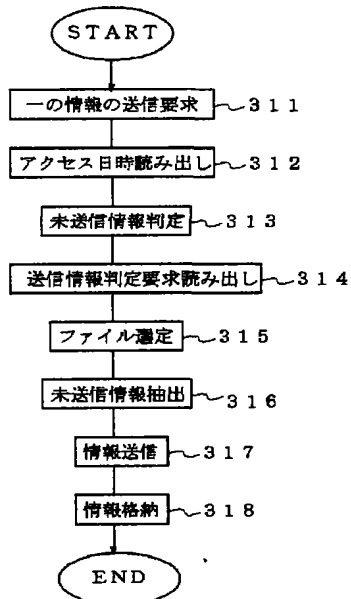
【図4】



【図5】



【図6】



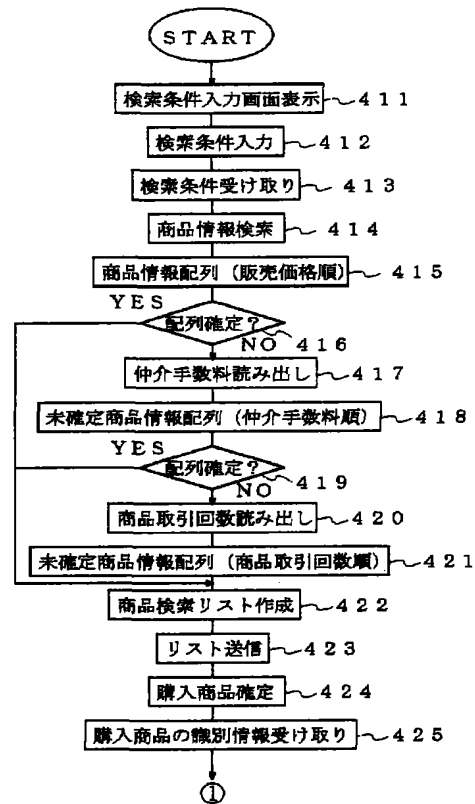
【図8】

販売者	仲介手数料	取引回数
〇〇カメラ	30	150
〇〇電機	25	70
山田太郎	25	2
佐藤健一	30	0
〇〇家電	25	46
〇〇電機	25	24
〇〇	30	46
〇〇	30	47

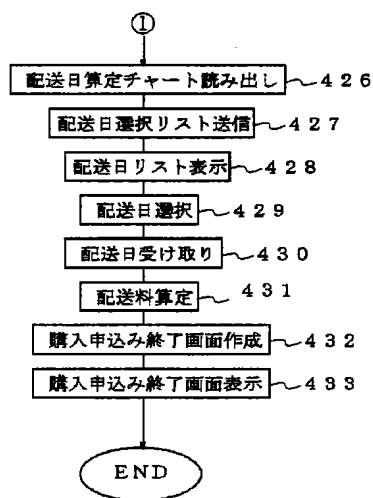
【図7】

商品名	価格	販売者	販売者属性	商品属性	基本配送料
アイボ	148900	〇〇カメラ	法人	新品	900
アイボ	148900	〇〇電機	法人	新品	800
アイボ	148900	山田太郎	個人	中古	900
アイボ	150000	佐藤健一	個人	中古	900
アイボ	150000	〇〇家電	法人	新品	800
アイボ	150000	〇〇電機	法人	新品	900
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

【図9】



【図10】



【図11】

▼ 商品名を入力してください ▼

アイボ

▼ 状態のご希望は？ ▼

☐ NEW 新品
 ☒ FREE 不問
 ☐ USED 中古

▼ 売り手のご希望は？ ▼

☐ 個人提供
 ☒ 提供不問
 ☐ 法人提供

確定

【図12】

shopping

アイボ + 売り手不問 + 新古不問

商品名	価格	販売者	分類	新・古
アイボ	149800	〇〇家電	法人	NEW
アイボ	149800	山田太郎	個人	USED
アイボ	149800	〇〇家電	法人	NEW
アイボ	149800	〇〇電機	法人	NEW
アイボ	150000	〇〇	法人	NEW
アイボ	150000	〇〇電機	法人	NEW
アイボ	150000	〇〇	法人	NEW

確定

【図14】

希望配送日を選択してください。
金曜日を指定すると配送料が割り引かれます。

日付	7/10 (月)	7/11 (火)	7/12 (水)	7/13 (木)	7/14 (金)	7/15 (土)	7/16 (日)
割引	なし	なし	なし	なし	5%	なし	なし
					✓		

確定

【図15】

商品名 「アイボ」	
商品価格	148900 円
配送料	820 円
合計	149720 円

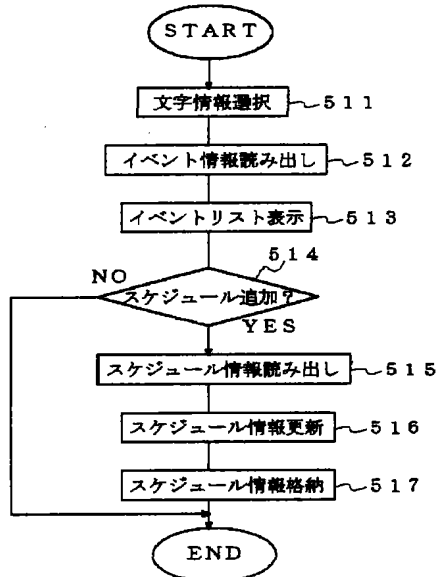
お買い上げありがとうございます。
 お買い上げ先へご購入の連絡が自動的に入ります。
 更に連絡する際は、下記のアドレスへご連絡ください。
 ○○○○/○○○○.co.jp

【図16】

2000年7月	第二週	
日付	イベント	メモ
8 (月)		
9 (火)		
10 (水)		
11 (木)		定期券の購入で17800円 映画に行くときに○○君 に返してもらう予定
12 (金)		
13 (土)		
14 (日)		

NEXT
WEEK

【図17】



【図18】

this week event
キャンセル

イベント名	価格	チケット
サザンオールスターズ ライブイベント 東京有明コロシアム	4500 円	当日券あり
パフィー公開ラジオ放送	FREE	無し 受付終了
モーニング娘ライブイベント セカンドライブ	6800 円	無し 受付終了

開催日時 7月14日○○時公演
 開催場所 〒○○○-○○○○
 千葉県○○市○○○

アクセス
 JR○○線○○駅連絡
 ○○線○○駅下車
 駅から徒歩 20分
 バス 5分

確定

【図19】

2000年7月		第二週
日付	イベント	メモ
8 (月)		
9 (火)		
10 (水)		
11 (木)		定期券の購入で17830円 映画に行くときに〇〇客 に返してもらう予定
12 (金)		
13 (土)		
14 (日)	サザンオールスターズ ライブイベント 先々時追加公演 〇〇時開演	

NEXT
WEEK